

2020年5月15日

逗子市

地元建設業者が逗葉医師会へ PCR検査ボックスを寄贈します

新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、神奈川県と神奈川県医師会が締結した協定に基づき、5月18日から逗葉医師会がPCR集合検査場を逗子市内に設置します。本検査場設置に伴い高幸建設が逗葉医師会へPCR検査ボックスを作製し、寄贈します。

●令和2年5月18日（月）午前11時30分、逗子市役所にて寄贈

高幸建設が逗葉医師会へ、PCR集合検査に使用するPCR検査ボックスを寄贈することに伴い、寄贈のセレモニーを逗子市・葉山町の代表者立ち合いのもと開催します。

●高幸建設が逗葉医師会へ寄贈するPCR検査ボックスとその配置先

高幸建設が作製・寄贈するPCR検査ボックスは、装着タイプと設置タイプの2種類です。PCR検査ボックスは、逗子市内で開設されるPCR集合検査場で使用されます。

●寄贈することとなった経緯とPCR集合検査場

高幸建設より、医療関係での寄付の申し出があり、相談した結果、同社が、同資器材を作製した上で寄贈することとなりました。逗葉医師会が設置するPCR検査場は、新型コロナウイルス感染が強く疑われる症状の方に対しての、かかりつけ医からの紹介による完全予約制です。当面の間は、平日午後2時から午後5時に開設し、1日最大で9人程度の検査を想定しています。

本件に関するお問い合わせ先：

福祉部国保健康課 廣末・黒川

電話：046-873-1111 内線231